



かたつむり通信 35 号

大人にできること

代表理事 谷山 啓太

少子化が進み、昨年の出生数は過去最少を更新し 70 万人を割り込みました。子どもはどんどん減っているのに、子どもに関する指標は、子どもたちがどんどん生きづらくなっていることを示しています。昨年の小中高生の自殺は 529 人と過去最多を更新し、女子が初めて男子を上回りました。いじめや不登校の指標も右肩上がりですとどまるところを知りません。

チャイルドラインに来てくれる子どもたちは口々に「話を聞いてもらえない」と、大人たちに押さえつけられ、自分が大切にされていない状況を話します。国や自治体が少子化対策として躍起になって子育て支援に税金を振り向け、やっとのことで生まれて来てくれた子どもたちは、「自分は家でも学校でも大切にされない」と感じて居場所をなくし、行き場をなくし、自ら命を絶つ子が増えているのです。

今、私たち大人にできることは何でしょうか。子どもを大人の都合で動かす対象としてではなく一人の人間として

認め、しっかりその声に耳を傾けることではないでしょうか。

しながわチャイルドラインの定期総会を 5 月 24 日に行いました。今年度の方針として、とくに力を入れていきたいことは以下の 2 点です。

(1) 子どもの権利が尊重される地域の実現を目指します。

チャイルドラインとして私たちが聴いた「子どもの声」を子どもたちが「自分たちが大切にされている」と思えるような社会に変えていく手段にします。

(2) 大人向けの講座を企画します。これまで私たちは子どもたちに「SOS の出し方」の出前授業を行ってきました。はたして大人は子どもの「SOS」に気づけているのだろうか、受け止めることができるのだろうか、と感ずるようになりました。地域のみなさまとともに学んでいけたらと考えています。

新任理事のご紹介(立正大学心理学部 小澤康司先生)

今期より理事会のあり方を見直しました。外部の視点を取り入れたいとして、立正大学教授の小澤先生に理事をお願いしました。



このたび、しながわチャイルドラインの理事に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

しながわチャイルドラインのご厚意で、「受け手・サポーター養成研修」に立正大学臨床心理学科の学生を参加させていただいたのは 14 期養成研修からで、今年で約 10 年になります。多くの学生達が、子どもたちの現状を理解し、子どもの心に寄り添うことを学び卒業することができとても感謝しています。今後はしながわチャイルドの運営についても協力してゆきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

受け手継続研修(「死にたい」に寄り添うということ)(2025 年 1 月 14 日)

精神科医の松本俊彦先生のお話をビデオ視聴する形式の研修で、「オーバードーズ」「リストカット」「依存」につ

いての基本的な理解や、子どもからそのような行為や「死にたい」と告白、相談された時の対応として大切なことを、

とてもわかりやすく学びました。

参加されたメンバーから「死にたい子どもの話聞く自信がなくなっちゃいました」という感想がありました。「一期一会」で「死にたい」子どもと関わっている私たちができるこ

とってなにか。子どものありのままを否定せずにそのまま受け止めることなんじゃないか。そんな振り返りを行いました。



継続研修（受けた電話について話してみよう）（2025 年 4 月 17 日）



最近受けた電話や、印象に残っている電話についてお話ししました。

「同じ話がぐるぐる続いてかなり時間がたった時切り時に困る」と

いった電話。聴くのが難しいと感じる電話。私はこう思うと「Iメッセージ」で伝える。電話の向こう側の状況に対して「何とかしてあげないと!」と思うことも。かけてくる子どものことはもちろん、受け手の気持ちにも寄り添い合えたような研修だったと感じました。

チャイルドライン全国研修（2025 年 1 月 19 日）



「チャイルドライン全国研修」に参加しました。

しながわチャイルドラインは「受け手養成研修の課題を考える」分科会に参加して、立正大とコラボしてい

る事例を提供しました。学生時代に養成研修を受けて、学校を卒業しても活動を続けているメンバーに思いを話してもらいました。

何のためにチャイルドラインをやっているのか、今後どうしていきたいか、改めて考える機会になって、大切な時間でした。

「ほっとラジオしながわ」出演（2025 年 3 月 28 日）



FM しながわの「ほっとラジオしながわ」に出演して、チャイルドラインの紹介や、春休み中の子どもたちに向けてのメッセージなどお話ししてきました。

番組パーソナリティーの安田さちさんは品川区で子育て中のすてきなお母さんです。さちさんの夫の安田大サーカスの団長も次の番組の出演のためにいらして、リハーサルの後と一緒に子育てトークで盛り上がりしました。

かれこれ、この番組に呼んでいただくのは 5~6 回目で、団体の発信の機会をくださって感謝です。

浦安市立入船小出前授業（2025 年 6 月 20 日）



ご縁があり、新浦安の入船小学校に出前授業に行ってきました。

1~3 年生の部、4~6 年生の部の 2 回に分けて、総勢 500 人弱が対象。低学年向けは「人に相談すること」、高学年向けは「子ども

の権利」について。キラキラした目で聞いてくれました。ロールプレイで子ども役をお願いした先生の演技も素晴らしく、子どもたちに大ウケでした。



子どもたちにアンケートを回答してもらい、その中に私たちへの質問があれば、すべてに回答を考えて送りました。

学校の先生からのメッセージ「アンケートの回答をありがとうございました

た。子どもたちに読んでもらえるように、職員室前に拡大にして掲示をしました。立ち止まって読んでいる子どもたちの姿が見られます。今回の講座は、子どもたちだけでなく先生方にも良い機会となりました。」



今年の宿泊研修のテーマは「言いたいことが言える仲間になろう!」

1日目午前、受けた電話の共有から始まり、午後は「合意形成のワーク」を行いました。グループの一人ひとりが大切にしていることが異なる中、言いたいことが言えることと、納得してグループで一つの回答をまとめることの難しさを体験しました。

夕食とお風呂を挟んで懇親会を兼ねた夜の研修は毎年恒例(?) 落語の一席から始まり、みんなで絵本や漫

画、映画など、自分の大事な1作品を持ち寄り紹介し合いました。作品を通してメンバーの意外な一面を知ることが



出来ました。
2日目は「アドバイスについて」。ワークを通じてアドバイスを受ける子どもの気持ちを体験しながらチャイルドラインとして電話を受けるときに大切なポイントを確認しました。



23 期受け手の活動デビュー報告

チャイルドラインへの参加は、他の NPO でお会いした〇〇ちゃんのススメでした。もともと、「みんなで子育てする社会」を目指して、自分に何ができるか?を模索していたのですが、「子どもの話に耳を傾ける」ことで、自分の経験を活かせることに気づき、ボランティアへの参加を決めました。まだボランティアとしての経験は浅いのですが、興味を持って質問すると、うれしそうに話してくれるのが、私もうれしい楽しいです。中には深刻な悩みの相談もありますが、「この子ならきっと大丈夫!きっと乗り越えられる!」という信念をもってお話を聞いています。(I さん)

子どもたちの未来を応援したいと始めた活動。多く

の方との出会いと交流が、私の人生に厚みを増してくれています。(K さん)

困っていることものの声を聴くことで、解決の糸口を一緒に考えたいと思い、チャイルドラインの活動をさせて頂いています。子どもは国の宝もの、もっと大切に育む環境づくりが必要だと感じています。体験してみるとさまざまな声を聞く機会に恵まれます。しかし、かけ手が言いたいことを自分が聴ききることが出来ているのかといつも自省しています。自己満足に終わらないこと、「聴く」ことは難しいことだということを心してこれからも自己研鑽しながら、良い聞き手になれるよう頑張りたいと思います。(H さん)

24 期受け手・サポーター養成研修募集開始

しながわチャイルドラインの「受け手・サポーター養成研修」を10月から開催します。子どもの声に耳を傾ける、私たちの活動に関心を持ってくださる方、参加をお待ちしています。研修は、子どもを理解し、「聴く」ことについて掘り下げて学んでいく中で、ワークショップ等を通じて仲間になっていく過程でもあります。

期間 : 10/7~12/16 まで、毎週火曜日 19~21 時

場所 : 立正大学品川キャンパス

参加費 : 社会人 9,000 円、学生 3,000 円

お申し込みはホームページから

2025年
しながわチャイルドライン
第24期 受け手・サポーター養成研修

【期間】10月7日(火)~12月16日(火) 全11回
【時間】19時~21時
【会場】立正大学品川キャンパス
【対象】しながわチャイルドラインの活動に関心がある18歳以上の方
【定員】30名 ※応募者多数の場合は、抽選による選考を行います。
【参加費】全11回 社会人:9000円 学生:3000円
【応募】研修コードのフォーム、メール、LINEいずれから下記項目を確認してご応募ください。
※応募は「しながわチャイルドライン」のホームページから「2025年度 受け手・サポーター養成研修」のページから行えます。
【募集】9月15日(火)

～しながわチャイルドライン 第23期受け手・サポーター養成研修～
全日程19時~21時

- 第1回 開講式 10月7日(火)
- 第2回 「聴く」ということ 10月14日(火)
- 第3回 子どもの人権ワークショップ 10月21日(火)
- 第4回 お互いを尊重するためのバウンダリー 10月28日(火)
- 第5回 仲間を知るワーク 11月4日(火)
- 第6回 包括的性教育とは? 11月11日(火)
- 第7回 子どもが安心してできる大人になる 11月18日(火)
- 第8回 ふりかえりとワークショップ 11月25日(火)
- 第9回 「聴く」ということ 12月2日(火)
- 第10回 電話で「聴く」ということ 12月9日(火)
- 第11回 修了式 12月16日(火)

チャット受け手養成研修(2024年12月28日、2025年4月19日、7月26日)

チャイルドラインの受け手は、まず電話から始めますが、子どもたちにとって電話よりもチャットの方が気軽につながれるツールとなっています。



チャットでの応答に必要なスキルや心構えなどを学び、新たに11名のチャット受け手が誕生しました。



受け手ステップアップ研修(2025年2月22日、3月4日、他)



受け手を継続するために必須の研修として「苦手な電話のかけ手体験」を行いました。

自分が「苦手だと感じる電話のかけ手(=子ども)」になってみて、仲間の受け手の受け方から学びを得ようという趣旨です。参加者からは「子どもになることで自分を振り返ることができた」との感想がありました。

電話&オンラインチャット実績(集計期間:2025/1/1~2025/6/30)

◇ 電話

主訴	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
自分	45	48	54	45	54	58	304
性	17	23	19	20	29	27	135
学校	16	22	18	16	26	17	115
家庭	5	16	12	18	18	16	85
その他	7	6	6	6	7	0	32
計	90	115	109	105	134	118	671

◇ オンラインチャット

主訴	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
自分	23	33	29	21	21	12	139
学校	8	12	17	8	13	10	68
家庭	4	5	9	5	12	5	40
性	1	2	0	3	2	0	8
その他	1	2	2	0	4	0	9
計	37	54	57	37	52	27	264

ご支援ありがとうございます(集計期間:2025/1/1~2025/6/30)

寄付金・賛助会費・助成金の総額:275,750円

ご支援いただいた個人:12名

ご支援いただいた団体:

品川区社会福祉協議会(品川ボランティアセンター)様
清子フラススタジオ様
プチヘレクラブ(清子フラススタジオ生徒会)様
たつのこどもクリニック様

しなチャイの運営は正会員の会費、賛助会員さまの会費、寄付金、助成金によって成り立っています。会費、ご寄付の用途は、子どもたちに配布するカード作成費(1枚

0.7円)、公開講座の開催費などです。

【賛助会員】年会費「1口2,000円」から何口でも

銀行名:ゆうちょ銀行

口座名義人:トクヒ)シナガワチャイルドライン

記号:00160-5/番号:664278

※ゆうちょ銀行以外からお振込みいただく場合

支店名:〇一九(ゼロイチキュウ)

預金種別:当座預金/口座番号:0664278

発行: 特定非営利活動法人 しながわチャイルドライン

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-23-24 コーポ柴田 203

Tel. / Fax. 03-5462-2868

発行月:2025年8月

ホームページ



Facebook

